

【母校訪問】 摂南大学卒業生/ラグビーW杯日本代表の ジョネ・ナイカブラ選手が表敬訪問！

「諦めずに続ければ不可能なことはない」と現ラグビー部員へメッセージを届ける

摂南大学（学長（当時）：荻田喜代一）の2017年度卒業生で、現在は東芝ブレイブルーパス東京に所属し、ラグビーワールドカップ2023 フランス大会（W杯）で日本代表として出場したジョネ・ナイカブラ選手（以下、ナイカブラ選手）が、10月18日（水）に本学寝屋川キャンパスを訪問しました。



【本件のポイント】

- 「目標を立てて諦めずに続けること」を摂南大学で学んだとコメント！
- 学長を表敬訪問し、アルゼンチン戦で着用した日本代表のユニフォームを寄贈。
- 現ラグビー部員や大学時代のチームメイトと交流を深める。

■記者発表会を開催。大学時代を振り返り、現ラグビー部員へ激励の言葉を述べる。

ナイカブラ選手は、来日するきっかけをつくり、在学中に指導も受けた恩師であるラグビー部河瀬泰治総監督とともに、記者発表に登壇しました。

「摂南大学で成長したと感じることは何か？」という質問に対し、ナイカブラ選手は「諦めずに練習を毎日すること」と述べました。「仮に高校卒業後すぐにプロ選手になり、代表に選出されていたとしたら、練習についていくこともできず、おそらく試合にも出ていないと思います。摂南大学で、”目標を立てて諦めずに練習を続けること”の大切さを学びました。」と語りました。河瀬泰治総監督は「今日、学生や教職員が歓迎する中、正門に向かって歩いてくるジョネを出迎えた時、学生時代の思い出とW杯の活躍が重なり合って感無量でした。次のW杯でも日本代表に選ばれるように頑張してほしい」と語りました。

また、ナイカブラ選手は本学のラグビー部員に向けて、「ただハードな練習をするのではなく、しっかり目標を持って、誰も見ていないときにも練習をすることが大事。そうすれば、不可能なことはない。夢に向かって挑戦してください。」と力強いメッセージを述べました。



■学長を表敬訪問し、アルゼンチン戦で着用した日本代表ユニフォームを寄贈。

記者会見終了後は学長室を訪れ、荻田学長（当時）や副学長、教職員から祝福を受けました。学長（当時）は、「アルゼンチン戦の後半のトライの際、「摂南大学出身！」とナイカブラ選手が紹介された時、嬉しくて涙が出ました。次回、次々回のW杯でも頑張ってもらいたいです。」とエールをおくりました。



■グラウンドへ訪れ、現ラグビー部員らと交流を深める。

ナイカブラ選手は、グラウンドを訪れ、現ラグビー部員や当時のチームを支えてくれたコーチやスタッフ、お世話になったOB等と交流しました。また、現在摂南大学に在籍する外国籍の部員にも、エールを送りました。



■内容に関するお問い合わせ先

摂南大学 学長室 企画課

TEL: 072-839-9450 (直通・月～土) 9:00～17:00